



# とつとつダンス in 鹿児島 2024

日時：2024年11月2日（土）  
18:30-21:00（開場18:00）

会場：妙行寺 門徒会館  
（鹿児島市和田1丁目4-1）

※参加無料（要事前申込み）、定員40名

※申込み先



左記のQRコードから申込みいただくか  
torindoinfo@gmail.comまで、①お名前  
②メールアドレス ③お電話番号 ④参加人  
数をご記入の上、お申込みください。

認知症ケアの現場で生まれた、福祉とアートが交差する《とつとつダンス》が再び鹿児島に登場！今回は、鹿児島市内の高齢者福祉施設を訪問し作品制作を行う振付家・ダンサーの砂連尾 理と神村 恵によるパフォーマンス+ワークショップと、「未来をつくるkaigoカフェ」代表の高瀬比左子さんを招いたトーク・セッションを開催します。介護やケアに携わる方、そのご家族、ダンスやアートに興味のある方など、どなたでもお気軽にご参加ください！

内容：

①パフォーマンス+ワークショップ体験（出演：砂連尾 理、神村 恵ほか）

②トークセッション（ゲスト：高瀬比左子「未来をつくる介護カフェ」代表）

グループに分かれて行う、参加者同士のグループディスカッション。前半のパフォーマンスやワークショップの感想を共有したり、非言語コミュニケーションの可能性などについて話し合います。

問合せ先：一般社団法人torindo メール：torindoinfo@gmail.com

主催：一般社団法人torindo、文化庁

※文化庁委託事業「令和6年度障害者等による文化芸術活動推進事業」  
（日本⇄アジア太平洋 国際交流事業～認知症者・高齢者と介護者をつくる「アートのような、ケアのような《とつとつダンス》」）

torindo

文化庁  
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

# ゲスト+アーティスト紹介

## 高瀬比左子（たかせ ひさこ）



NPO法人未来をつくるkaigoカフェ代表。介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員。2012年から「未来をつくるkaigoカフェ」開催。介護職やケアに関わる者同士が立場や役職に関係なく、フラットに対話できる場を提供し続けている。主な著書に『介護を変える 未来をつくる～カフェを通して見つめる これからの私たちの姿～』（日本医療企画）など。



## 砂連尾 理（じゃれお おさむ）

写真：草本利枝



ダンサー・振付家。ドイツの障害者劇団や舞鶴の高齢者、宮城の避難所生活者への取材を元にした作品など、病、障害を〈生きる過程にある変容〉と捉え、対話を通じたダンス作品を制作する。立教大学 現代心理学部・映像身体学科教授。



## 神村 恵（かみむら めぐみ）

写真：Nahoko Morimoto



ダンサー・振付家。2004年よりソロ作品を発表し始め、これまで、イタリア、韓国、インドネシア、フィンランド、英国などを含む国内外の様々な場所でパフォーマンスを行う。近年は、言葉と動きの関わりに関心を持ち、それらの間で変換を行う仕組みを利用した作品などを制作。

ワークショップに関する詳細・最新情報は、torindoのホームページまたはFacebookページから！

《とつとつダンス》とは：

ダンサー・振付家の砂連尾理と非営利芸術活動団体torindoが、2009年から京都府舞鶴の特別養護老人ホーム「グレイスヴィルまいづる」とともに行ってきた認知症高齢者・障害者と介護者とのダンスワークショップ。2024年度は活動の場をオンラインのほか、鹿児島、そしてマレーシア・シンガポールへと拡大し、多くの方々との交流を続けている。

協力：妙行寺、あんまあの家、LLさねかた、UDラボ



torindo HP